

みそは幸せの味

埼玉県川口市立青木北小学校 六年 帖佐優

私は日本の食べ物が好きです。みそもその中の一つです。今回作文を書くころと思って副読本を読んだら色々と思いきい浮かびました。

まずは祖母のみそ料理です。

関西にいる祖母は、夏休みに遊びに行った時おみそ汁を作ってくれました。かつお節ととんぶで出汁を取り、具は豚バラ、ごぼう、豆ふ、人参、ねぎなど具たくさんでとてもおいしかったです。父は、「懐かしいなあ。」と言いながら皆で「おいしいね。」と言って食べました。それから母にリクエストをして我が家でも作ってもらっています。おいしいご飯に具たくさんのおみそ汁とぬか漬け。これがあれば最高のごはんです。

もう一人の東北出身の祖母のみそ料理はみそおにぎりです。おにぎりのまわりにみそがたっぷりぬってあるシンプルなおにぎりですが温かいほかほかごはんのおかげで、みそのいい香りが口と鼻いっぱいに広がります。中には私の好きな梅干しや鮭、かつお節などが入っていて何が出てくるか楽しみです。母も子どもの頃良く食べていたそうで、食べると元気が出るそうです。

また副読本のみその作り方を読んで、幼稚園の頃を思い出しました。私は、年中まで青森県に住んでいました。その園では、皆で野菜を育てたり、大豆を育てて収穫した大豆からみそ作りもしました。自分で作ったみそは自分の手のいい菌が入って自分の腸にいいんだよと教えてもらいました。幼稚園の給食は、そのみそで作ったみそ汁が出てきました。おいしくていつもおかわりしていたことを思い出しました。参観日には、みそ玉の作り方を教えてもらって父と母も「こんなに手軽にできるなんていいね。」と我が家では今も朝ご飯の時に、みそ玉で作ったみそ汁が登場します。

こう考えると、みそには、祖母、父、母そして私の思い出が詰まっています。みそは幸せの味です。